

平成 28 年経済センサス - 活動調査に関する
地域メッシュ統計を利用した地域分析

令和 3 年 10 月

公益財団法人 統計情報研究開発センター

はじめに

我が国の産業構造は変化し続けている。長期の状況を把握できる国勢調査で産業別就業者数をみると、第三次産業の就業者は 1960 年以降増加し続けており、第一次産業は 1960 年以降、第二次産業は 1995 年以降減少し続けている。平成 28 年経済センサス - 活動調査の結果によると、我が国の従業者数（事業内容等不詳を除く）は 5687 万 3 千人で、その内訳は第一次産業が 36 万 3 千人（0.6%）、第二次産業は 1257 万 4 千人（22.1%）、第三次産業は 4393 万 5 千人（77.3%）となっている。産業大分類別の従業者数は、「卸売業，小売業」が 1184 万 4 千人（全産業の 20.8%）と最も多く、次いで「製造業」が 886 万 4 千人（同 15.6%）、「医療，福祉」が 737 万 5 千人（同 13.0%）であるが、これらの産業別従業者数の推移は、平成 24 年と比べると、「卸売業，小売業」が 0.8%の増加、「製造業」が 4.1%の減少、「医療，福祉」が 19.4%の増加となっており、第二次産業である「製造業」の従業者数は減少傾向にあり、少子高齢化の人口構造を背景として、「医療，福祉」の従業者数の増加が著しい。

産業構造の変化の様相は、全国一律ではなく、地域によって異なる。全国の傾向を踏まえながらも、地域別にその状況を把握し、地域に合った適切な対策を検討していくことが今後より重要になると考えられる。また、IT 技術の進展を背景とした産業の情報化、知識産業の形成により、地域の産業構造も変化していくと考えられ、現在の状況だけではなく、変化の傾向について把握しておくことも重要である。

本報告書は、これらのことを踏まえ、経済センサス - 活動調査に関する地域メッシュ統計及び GIS を利用して、大都市圏あるいは都市圏など、比較的広い地域範囲を対象として、都道府県や市区町村などの行政界にとらわれずに、従業者数による地域の産業構造の特徴、変化の傾向を明らかにすることを目的として行った研究結果をまとめたものである。具体的な内容は、次のとおりである。

まず、経済センサス - 活動調査に関する地域メッシュ統計を利用した、地域の産業別従業者数の特徴を把握するための集計方法を検討し、その集計方法を利用して、平成 24（2012）年経済センサス - 活動調査、平成 28（2016）年経済センサス - 活動調査に関する地域メッシュ統計（2分の1地域メッシュ、約 500m 四方）を用いて、産業別従業者数に関する項目について 2012～16 年の増減率等を算出した。次に、その結果に基づき統計地図等の作成や主成分分析による知識産業の指標を地図化した。併せて市区町村別集計による同様の分析を行い、統計データの集計地域単位による分析結果の違いについて整理した。

本報告書は、「Ⅰ 分析の方法」、「Ⅱ 分析の結果」、「Ⅲ 集計結果による統計地図」の三部から構成される。

「Ⅰ 分析の方法」では、経済センサスの地域メッシュ統計の区画方法など、経済センサスに関する地域メッシュ統計の概要について説明した。そのほか、大都市圏あるいは都市圏

など、比較的広い地域範囲を対象として分析を行う際に、従業者数による地域の産業構造の特徴、変化の傾向を把握しやすくするために本分析で用いた地域メッシュ統計データを利用した集計方法とその意義について説明した。

「II 分析の結果」では、集計した結果を用いて、2016年における知識産業の総合的指標を主成分分析により計算し、地域分布の傾向について鉄道路線との関係に着目して整理した。また、市区町村別集計でも同様の分析を行い、集計地域単位による分析結果の違いについて把握した。

「III 集計結果による統計地図」では、平成24(2012)年経済センサス-活動調査、平成28(2016)年経済センサス-活動調査に関する地域メッシュ統計の編成項目のうち、産業別従業者数に関する項目について、「I 分析の方法」の集計方法によって増減率等を算出し、その結果に基づき統計地図を作成した。これらの統計地図や度数分布表、増減率等の値の上位・下位の地域リストを参考にし、地域分布の特徴を記述した。

本報告書が、各地域の産業構造の特徴や状況を踏まえた地域施策等の検討に際して参考になれば幸いである。

この分析結果は、統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「平成28年経済センサス-活動調査に関する地域メッシュ統計」(総務省)のオーダーメイド集計により提供を受けた統計成果物を基に統計分析を行い、研究成果としてまとめたものです。総務省が作成・公表している統計等とは異なります。